

# 総会特集

令和になって初めての道前会総会が、令和元年10月26日（土）、ベルフォーレ西条で開催されました。

総会に先立ち、本部・支部役員懇親会が開催され、短い時間ではありましたが有意義な意見交換会となりました。

開会の挨拶の後、物故者への黙禱、真鍋和年会長（66回）、丹下厚法教頭挨拶、来賓紹介の後、寺川和夫事務局長（65回）より、平成30年度会務報告・会計報告、監査報告。令和元年度事業計画・予算の説明がなされ、滞りなく総会議事を終えました。



支部懇親会



会長あいさつ

引き続き、九州大学名誉教授・真木太一先生（62回）を講師に、「75歳・心臓身障者の日本百名山・日本百高



真木太一先生の講演

山単独行」と題した基調講演が行われました。真木先生は、狭心症を含め、4度の手術を乗り越えて70歳を過ぎてからも日本百名山・百高山を踏破した体験をお話しくださいました。

恒例の親睦会は、東京道前会の寺田紀子副会長（70回）の乾杯のご発声で始まり、渡辺美月さん（114回）のピアノ演奏でお楽しみいただきました。

閉会のご挨拶は、松山道前会の新会長、亀岡マリ子さん（65回）というウーマンパワーが炸裂した総会となりました。

また、特賞が、お米のほかに今回はビッグな商品券という贅沢な福引大会も行われ、会場は大いに沸き、盛会のうちにお開きとなりました。



渡辺美月さんのピアノ演奏



親睦会風景



校歌（60回）



## 株式会社 日本システムグループ

〒793-0003 愛媛県西条市ひうち 6-22  
TEL 0897-52-1508 FAX 0897-52-1509  
URL <http://www.nsgr.co.jp>





# 支部会だより

## 東京道前会

事務局長 福本信彦 (74回)

令和元年度の総会は、6月9日(日)11時より初めての開催となった日本青年館において135名出席のもと開催されました。

母校からは佐伯校長先生、本部からは真鍋会長、近畿道前会から岩崎会長、東海道前会から妻鳥副幹事長のご出席をいただきました。

総会は、東京道前会山内会長の開会の挨拶に始まり、来賓として佐伯校長先生と真鍋道前会会長にご挨拶をいただきました。続いて明比幹事長から収支決算・活動報告・事業計画・予算案などの上程や、得永監事から監査報告があり、賛成多数で承認されました。



さらに新任役員のご紹介がありました。

懇親会は、加藤さん(51回)、平井さん(51回)と今年母校を卒業した最年少の119回の岡さん、福山さんの乾杯の音頭で賑やかに始まりました。

今回のアトラクションは武蔵野音楽大学卒業後、全国各地のフェスティバルやイベントで演奏を行っているマルチピアニストの畑奉枝さんをお願いしました。トイピアノの繊細な音色が醸し出す不思議な空間に酔いしれました。

後半は恒例のお楽しみ抽選会が行われ、幹事の高橋利奈さん(113回)の進行により、あちこちで歓声が沸く中、次々と豪華賞品が当選者に手渡されてゆきました。

最後は校歌斉唱に始まり、高校時代の制服を着た秋山さんと十亀さんの応援コンビによるリードのもと、応援歌を元氣よく歌って会は最高潮に達しました。締めくくりとして近藤副会長の閉会の辞で盛会のうちに滞りなく幕を閉じました。

その他の活動として、6月に母校からの依頼により修学旅行生の会社訪問を実施しました。会社訪問は「UACJ」と「サイボウズ」で行い、また県事務所の協力により、「せとうち旬彩館」では、修学旅行生によるきぬかわ茄子の販売を行いました。9月は、母校文化祭に参加し本会のPRコーナーに集まってくれた在校生の生活相談にお答えしました。10月は年1回のゴルフコンペで親睦を深めました。1月は新年会を55名の参加により、日比谷パレスで開催しました。4月には本会会報誌を発行します。このように東

## 東海道前会

副会長 森山桂一 (60回)

令和元年度は総会開催年度(隔年開催)ではなかったため総会は開かれませんでした。

名古屋道前会の再結成に携わりその後も永きにわたり東海道前会のために貢献された渡部宏氏(51回)、松本順子氏(白40回)が昨年度高齢のため副会長を退任され、新たに長野達夫氏(58回)と矢葺範子氏(62回)が副会長に選出されて新体制になりましたが今年度は役員の異動無くその体制を継続しました。

今年度東海道前会で実施したのは以下の3点です。

- 1、本部、他支部の総会出席
- 令和元年10月26日に開催された本部総会と本部支部役員懇談会に森山桂一副会長(60回)が出席し6月9日開催された東京道前会総会には妻鳥勝行副幹事長(71回)が出席しました。
- 2、秋の親睦ゴルフ大会開催

恒例の秋の親睦ゴルフ大会は令和元年11月13日、昨年と同じく名門東名古屋カントリークラブで開催されました。山路会長以下9名が参加しました。昨年は開催も危ぶまれるような風雨でしたが、今年はスタート時こそ薄曇りだったものの徐々に柔らかな日差しとなつて、寒くも無く風も無い絶好のゴルフ日和となりました。

参加者の平均年齢は75歳を超えておりましたが皆さん元気でホールアウトしました。楽しいコンペとなりました。終了後懇親パーティを行い山路会長が挨拶さ

れたあと表彰式を行い親睦を深めました。全員で集合写真を撮って今回の開催を楽しみに散会しました。

優勝は名前からタイガーウッズを自稱する実力者 森寅雄さん(58回)、準優勝は中原俊三郎さん(59回)、3位は伊藤定彦さん(70回)でした。

3、東海道前会誌の創刊

東海道前会活性化のため懸案であった会誌の発刊に取り組み皆様から原稿を集め創刊号を発刊することが出来ました。

発刊にあたり東海道前会の歴史をまとめてみようということになり長野達夫副会長(58回)がまとめてくれたものを掲載しました。

西条市のトピックスとして宝島社の月刊誌「田舎暮らし」2月号の特集「住みたい田舎ベストランキング」で西条市が若者世代の部全国一に選ばれたことや西条グッズとして「お助け猿」を紹介して故郷の素晴らしさをアピールしました。



### 西條陣屋とともに 350年



とうしょうはん  
西條守護  
しょう運の神  
**西條神社**

宮司 塩出 崇 (67回)

愛媛県西条市大町1159

TEL 0897-56-8802 FAX 0897-56-8898



美・心の資産

ギャラリー **かわにし**

代表 塩出 洽 (64回)

画廊/愛媛県西条市大町1639-2 (駅前中通り)  
〒793-0030 tel&fax 0897-55-5768  
http://www.g-kawanishi.com/



### 近畿道前会

会長 岩崎秀雄 (65回)

#### 2019年度活動ご報告

道前会の皆様、お変わりなくお過ごしのこととお喜び申し上げます。

「近畿道前会」は毎年主な行事として①近畿道前会総会②近畿道前会歩こう会③近畿道前会ゴルフを実施致しております。しかしながら近畿道前会ゴルフ部は若手会員が増えず会員が減少したため中止となりました。従って今年は「近畿道前会総会」と「近畿道前会歩こう会」を実施致しましたので、この2つを中心に報告させていただきます。



西条高校合唱部

①2019年度の「近畿道前会総会」は、2019年7月14日に、ご来賓として真鍋道前会会長、佐伯西条高校校長、武田西条副市長他をお招きし、20名以上の大学生の若手会員を含む約90名の会員が集まり、ホテルグランヴィア大阪で開催されました。今年の総会には特別催しと致しまして、西条高校より、顧問の三崎先生率いる約35名の「西条高校合唱部」の皆さんをお招き致しました。



近畿道前会歩こう会

合唱部の皆さんの素晴らしい歌声に会員全員が聞きほれ、中には涙を流さんばかりに感激する者も出るほど素晴らしい内容でした。西条高校合唱部の皆さんには本当に感謝申し上げます。又今年も大学生の若手会員により、西条祭りや歌われる「伊勢音頭」のご披露をして頂き、会員全員が良き故郷を偲び感激しました。

### 岡山道前会

幹事長 工藤 隆 (71回)

令和元(平成31)(2019)年度の岡山道前会の総会は7月13日(土)11時より「岡山アークホテル」にて開催いたしました。来賓として、西条市より第9代道前会会長真鍋和年様と、校長佐伯幸治様が高校野球愛媛県大会開会式出席と重なりましたため教頭村上浩二様がお越しく下さいました。幹事長の工藤により以下の内容にて進められました。

- 一 黙祷
 

この一年間にお亡くなりになった会員の方々のご冥福をお祈り(お亡くなりになった方の中には、岡山道前会で長年ご尽力くださった前会長の菅尊士様も含まれております)
- 二 会長挨拶 佐竹会長
- 三 来賓挨拶 真鍋道前会会長、村上西条高校教頭
- 四 議案審議
 

平成30(2018)年度 事業報告・決算報告  
令和元(平成31)(2019)年度 事業計画案・予算案
- 五 役員改選 今年度はなし
- 六 顕彰
 

傘寿を迎えられる57回生会員の川崎逸次様

議案審議につきましては、特に異論なく原案通り承認されました。また、恒例となりました三浦氏のご尽力で収集されました「道前会関連資料」  
・ 母校関係 卒業生の進路状況、部活動、在校生の活躍、卒業生の活躍  
・ 郷土・道前会関係  
・ 岡山道前会関係 岡山道前会の活動 (本部会報掲載)



・ 会員の活躍 県展覧会(書道)、文芸(歌壇・俳壇の新聞掲載)が配布され、出席者に興味深く見ていただきました。

総会に続きまして懇親会に移りましてなごやかな雰囲気のもと進行いたしました。

佐竹会長の乾杯の音頭にて開宴し、参加者の方々の楽しい近況報告や恒例のカラオケの十八番披露、秋の旅行会の様子や5月4日令和奉祝伊曾乃神社だんじり奉納の画像紹介、三浦氏より配布資料のご紹介、そして初めての試みとして団体会員となりました西条市の「LOVE SAIJOファンクラブ」よりご提供いただきました西条物産品ビンゴ大会は、大変盛り上がりました。今年度は、例年と比べ会員の諸事情でご出席が少ない会となりましたが、とてもアットホームな交流の場となり、最後に母校校歌斉唱、そして来年の再会を祈念し閉幕となりました。

## 秋川会計事務所

税理士 秋川 史朗 (82回) ・ 税理士 秋川 裕恵 (57回)

事務所 〒799-1353 愛媛県西条市三津屋南11番12 電話 0898-65-5370 FAX 0898-65-5780  
松山事務所 〒790-0005 愛媛県松山市花園町3番地30-1203号 電話 089-913-0578 FAX 089-913-0598

### 広島道前会

幹事長 氏家 豪 (68回)

令和元年度の広島道前会総会懇親会は、秋空に恵まれた10月20日にホテルセンチュリー21広島に於いて開催されました。

この日、西条高等学校から丹下厚法教頭、道前会本部から真鍋和年会長にご列席を賜りました。あわせて道前会本部理事の伊藤良二様が、広島在住で初参加の同級生上野律子様をお誘いして急遽応援参加下さり大いにパワーを頂き、会員の皆様とともに、盛会かつ楽しい会とすることができました。

総会は広島道前会大下会長の挨拶に始まりご来賓の挨拶の後、会の活動報告と会計・監査報告と進み、今後の役員が幹事役員としてご協力下さることとなり、全員の賛成で承認されました。今後とも宜しくお願い致します。



続いて早々に懇親会へ。順次簡単な自己紹介を織り交ぜながら、また広島道前会のホームページからは「ブログ」に投稿頂いた故郷西条の「美しく懐かしい風景写真」などをスクリーンで一部紹介しながら、和気あいあいの懇親会となりました。

令和元年春から西条市役所・シティプロモーション推進課の「LOVE SAIJOファンクラブ」に、広島道前会として入会しています。

今年、推進課より寄贈品「西条産品詰め合わせセット」の提供を頂きましたので、会の終盤に、じゃんけん大会で景品として使用し、皆様方大変盛り上がりました。

会の最後には全員で恒例の校歌そして応援歌を斉唱し一体感を覚えるひと時でした。

近隣の山口県、島根県在住の同窓会員様には昨年から継続してお声をかけさせて頂きます。こちらから案内の方法もありませんが、電話あるいはメール下されば対応致します。お気軽にご参加下さい。

今年の総会は10月19日(案)同じ会場か、新たな会場にするか、検討している所です。確定すれば事前にホームページにてお知らせ致します。来年度の同窓会も、より多くの皆様にお会いできますことを願っております。



### 松山道前会

会長 亀岡マリ子 (65回)

主な活動は以下の通り

一 小冊子「松山道前会のあゆみ」発行  
会員の高齢化で発足時からの詳細を知る者が少なくなっており、発足以来のあゆみを記録にまとめて残すことになった。要した費用は、三浦晃・藤本諫男(当時は会長)両相談役の私費拠出に甘え、総会参加者並びに希望者に配布した。

二 会報「松山道前会」第十九号発行  
総会案内状と一緒に全会員に郵送。

三 令和元年度総会・懇親会開催  
①期日 令和元年十月十九日(土)  
②会場 東京第一ホテル松山

③参加者  
四九回卒の大先輩から一七回卒の大学生まで会員七十八名が参加。ご来賓として、佐伯幸治校長先生、真鍋和年本部長様、寺川和夫事務局長様、西辻勝平今治道前会会長様にもご臨席いただいた。

④総会  
安藤事務局長の司会で開会。校歌斉唱の後、物故会員への黙祷、藤本会長のあいさつに続き、佐伯校長先生と真鍋会長様よりご祝辞を頂戴した。来賓紹介の後、徳永副会長が座長席に着いて議事に移り、活動報告や会計報告等があった。その後、藤本会長の勇退に伴い、会則変更と役員改選人事案が提示され承認された。新役員を代表して、新会長亀岡が挨拶をして総会を閉じた。

⑤講演 講師 矢幡悠子様(六九回卒) 演題「届けよう金子みすゞのまなざし」  
響きあいこたましあつて、

⑥懇親会  
講演講師の矢幡様にも参加いただき、高塚副会長の乾杯の音頭から徳永

副会長の中締めまで、総勢八十三名が終始和やかに親交を深めることができた。途中、西条市役所職員から、「LOVE SAIJOファンクラブ」についての説明があり、各テーブルへ西条市蔵元「石鐘酒造」さまの清酒が贈呈され、その清酒をめぐって各テーブルが盛り上がった。  
最後に全員で記念撮影をして散会となった。

#### その他の活動

①ゴルフコンペは、参加者減少で休会  
②役員会年三回、常任役員会随時開催  
※お知らせ

令和二年の総会・懇親会は、十月二十四日(土)十一時から、東京第一ホテル松山にて開催予定。多数の参加をお願いします。





# プチ珈琲館

代表 阿蘇道子 (57回)

自家焙煎コーヒー販売と  
ワッフル・ピザの店

営業時間 AM8:30-PM9:00  
TEL 0897-55-6767  
愛媛県西条市朔日市258-2

### 道前会西条市役所支部

幹事長 山内隆和(79回)

「平成」から「令和」と時代は移りましたが、西条市を取り巻く環境は、人口の減少や少子高齢化など、全国の自治体同様に厳しい環境にあります。この様な中、本会会員の玉井敏久市長や会長の武田仁志副市長のもと、職員一丸となって「勝ち残れるまち」を目指して取り組んでおります。

その成果が実を結んだのでしょうか、先般、「住みたい田舎・若者世代部門の第1位」(宝島社・田舎暮らしの本2020年版)に選ばれました。

さらに、職員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる法人として、日本健康会議が顕彰する「健康経営優良法人2020」(大規模法人部門)に、中国・四国の自治体では初めて認定されました。このことは、当市としまして、誠に悦ばしいかぎりです。

今後、「われわれの誇れる故郷、西条」となるよう努めてまいりたいと思えます。



## 随想

### 旧制西条中学への復活と甲子園初出場の頃

東海道前会副会長 長野達夫(58回)



1 幾多の先輩により、築かれてきた旧制西条中学は昭和20年の敗戦により、占領軍の教育

総会につきましまして、例年通り、令和2年2月12日に令和元年度支部総会を、ベルフォーレ西条にて開催しました。総会後の懇親会には、来賓として道前会本部から真鍋和年会長、安永道子副会長、学校から佐伯幸治校長先生と山田、小川両先生のご臨席を賜りました。真鍋会長の祝辞、西条高校の先生方による高校の紹介ビデオを視聴の後、安永副会長の乾杯のご発声により懇親会が開会し、約70名の参加者が親交を深めました。

今後、当市役所支部会員370名が団結し、母校、西条高校の発展に寄与させていただければと考えております。

改革の一環として約10年間で数回の制度の変遷を経ることとなった。また、西条高等女学校も同時に改革の対象となった。

昭和22年の教育基本法・学校教育法に基き翌年23年から6・3・3制が実施され愛媛県立第一高等学校と改称した。24年9月には第二高等学校(元高等女学校)を併合、名称が愛媛県立西条北高等学校となった。同時に南高等学校も設置され昭和25年4月から男女

共学、学区制が導入された。昭和30年4月から北高等学校と南高等学校が併合し、新生愛媛県立西条高等学校として開校し広範囲から新受験生が入学した。この年の新入生が58回卒業生となっている。

戦後10年の曲折を経て現在に至ったものである。

旧制西条中学校の復活に近い形となったことから広範囲の地域から優秀な学生が受験し在学することとなった。この結果、進学率も格段に向上して国立の有名大学はじめ有名私立などへの多くの進学者を輩出していった。また徐々に文武両道の道へ進み次第に成果を収めた。

2 野球部の活躍と甲子園出場  
戦後の教育改革の嵐に耐えながら、西条市民の野球に対する情熱と応援を受け高校野球部は着実に実力を養ってきた。戦後10年間で県下では優勝5回、四国大会決勝進出2回の実力校となり、毎年今年こそ甲子園出場と言われながら逃してきた。

特に、昭和27年秋季大会で四国2位(藤田元司投手52回生)でありながら甲子園出場校は、四国1校となり甲子園出場を逃した。

この間、50回生矢野祐弘・51回生池西増夫・52回生藤田元司の各氏など記憶に残る卒業生が見られる。

昭和30年新制西条高校設立に伴い、上記の矢野祐弘監督のもとに川之江から今治にかけての俊秀選手が集い、統合の北・南高校の選手と共に、猛練習に励み、秋の四国大会2位となり、遂に創部60年の夢を実現、昭和31年春念願の甲子園初出場を勝取ることが出来た。(結果 西条0-2桐生一回戦敗退)

甲子園初出場に伴い、応援に重要な

役割を果たすブラスバンド部が初めて結成されて甲子園での応援に活躍した。このチームは引き続き夏の大会にも初出場し活躍し、ベスト4に進出することが出来た。

(結果 西条1-0県尼崎、西条3-2伊那北、西条2-0仙台一準決勝 西条0-1平安)

この甲子園初出場を契機として3年後に夏の甲子園全国優勝へと発展していった。

○甲子園初出場獲得時のメンバー(野球部員)

氏名	当時学年	ポジション	卒業年次
土岐勝利	2	投手	57回
合田征司	1	"	58回
吉田武彦	1	"	"
高橋伸一	1	"	"
主将・牧野芳樹	2	捕手	57回
藤田村光	1	"	58回
高橋正一	1	一塁	"
明比政富	1	"	"
青野修三	1	二塁	"
猪谷栄一	1	三塁	"
大久保昌一郎	2	"	57回
松浦昌弘	2	遊撃	"
金子正勝	1	"	58回
三谷孝夫	1	左翼	"
伊藤修通	1	中堅	"
小糸健司	2	"	57回
石井栄三	1	右翼	58回
築山彦光	1	"	"

このメンバーの中にもすでに鬼籍に入られた方もおられるとお聞きしますが、同時代に生き又多数の同級生の活躍に対して感謝を申し上げるとともに心からのご冥福をお祈り申し上げます。後輩諸君の一層の「力と熱」によるご健闘を期待しています。

# 西条金融協会

伊予銀行 愛媛銀行 愛媛信用金庫 東予信用金庫 百十四銀行  
 広島銀行 香川銀行 西条市農業協同組合 四国労働金庫

# 関行男の生涯

西原俊基 (58回)

はじめに

懐かしい大手門を潜ると左手に「暹なる故國を想ひて」という関行男の顕彰碑がある(頭上の鷲は伊藤五百亀作)。碑の裏面には「昭和三十年十一月、西中第三十九期生関中佐顕彰会外有志建之」とある。昭和五十一年三月修復された。

## 関行男の経歴

関行男は大正十年父関勝太郎・母サカエの長男として西条市栄町で出生。昭和三年大町尋常高等小学校に入学。昭和九年三月同校尋常科を卒業後、愛媛県立西条中学校入学。学業優秀であり「金子賞」受賞。またテニス部では全国大会に出場し活躍するなど文武に秀でていた。一方、校庭の西北にある「おやらい」の杜で戯れるなど腕白な面もあった。昭和十四年三月卒業(三十九回・同期生百十八名)。江田島海軍兵学校に第七十期生として入校。昭和十六年十一月卒業。海軍少尉候補生となる。昭和十六年十二月八日、日本軍の空母艦隊がハワイのオアフ島の真珠湾に在泊するアメリカ太平洋艦隊主力を奇襲攻撃(真珠湾攻撃)し、太平洋戦争勃発となった。



関行男大尉

昭和十七年六月海軍少尉に任官。日本軍はミッドウェイ海戦以降、敗北が続く。昭和十八年一月飛行学生となり霞ヶ浦海軍航空隊に赴任。六月海軍中尉に任官。昭和十九年一月から六月迄、霞ヶ浦海軍航空隊付で操縦教官、飛行学生二十五名(第四十二期)の指導。この年の春、上官の奨めで鎌倉の女性と結婚。母校西条中学校を訪れ挨拶訓示をする。五月海軍大尉に任官。この年の夏、台湾に飛び台湾を経てルソン島二〇一航空基地マバラカットに赴任。十月二十五日十時四十分、特別攻撃隊敷島隊長関行男以下四名が「セント・ロー」など敵空母軍に突入散華した。享年二十三歳。

西条市大町一三三八番地の榎本神社に「関行男慰霊の碑」がある。毎年十月二十五日に全国各地から多くの方が訪れ、慰霊式典が挙行されている。フィリピンへ慰霊の旅

令和元年十二月五日(十二月十日、団長・村上俊行(五十八回)、副団長・上野陽一、栗田肇(五十八回)、ガイド・神野宏(七十四回)として、総勢二十四名が参加した。以下、行程を記す。  
・十二月六日 関西空港発九時五十五分、フィリピン航空でマニラへ。十三時十分マニラ着(時差一時間)。マニラホテル内戦史資料館見学。  
・十二月七日 高速船マニラ港よりコレヒドール島へ。ボトムサイド、兵舎跡、マニラトンネル、アメリカ軍弾薬庫跡、コレヒドール博物館、スペイン灯台、戦艦武蔵記念碑、日本平和庭園(観音様)など見学。  
・十二月八日 マニラよりマバラカット戦跡ツアー。クラーク・マリア観音(リリーヒル)、クラーク博

物館、マバラカット東飛行場跡地、大西神社、バンバン個人博物館。  
・十二月九日 マニラ市内観光イントラムロス、サン・チャゴ要塞、サン・アウグスチン教会、マニラ大聖堂など。十四時二十五分フィリピン航空にて関西空港へ。

## おわりに

時代の波に翻弄され、夢多い青年関行男は二十三歳で壮絶な戦死をした(二階級特進して海軍中佐)。国難に殉じ軍神と崇められた関行男。その是非はともかく、西条高校の先輩にこのような人物を輩出していた歴史の事実を忘れてはならない。  
教え子(第四十二期飛行学生)へ贈った辞世の句。  
教え子は 散れ山桜 此の如くに  
なお、彼のお墓は、父勝太郎の出身地四国中央市の村松大師墓所に在る。

## 西条市愛唱歌『石鎚山』 秋川雅史歌唱 ユーシングル誕生

(作詞作曲 新井満)  
『千の風になつて』のまちづくり実行委員会 委員長 越智将文(72回)

## 『石鎚山』に寄せて

朝に夕に仰ぎ見る心の山、霊峰石鎚山をテーマとしたうたを創りたい。作詞作曲者は「千の風になつて」の新井満さんをおいて他にはない。五年前「千の風になつて」のまちづくり実行委員会と西条市長の連名で正式に新井さんにご依頼した。「本気ですか、山のうた作りほど難しいものはありませんよ」と新井さん。本気であることを示さなければならぬ私たちは、西条市と協力して賛同署名を実施した。愛媛県内はもとより、石鎚山を愛する全



国の人々から五千名を超える賛同署名と、熱いメッセージを集めることが出来た。署名とメッセージを受け取った新井さんは「みなさんの熱い思いが、よくわかりました」とうた作りを快諾。一年半をかけて作詞作曲し2018年10月に完成した。新井さんから「制作にかかった費用は全て新井が負担します。つまりこの楽曲は、みなさんへのプレゼントです。私の願いはただひとつ。生まれたばかりの赤ちゃんのようなこの曲を、みなさんの愛情と情熱で大きく元気に育てて欲しいということです。」新井さんの温かい心根を知り、大いに感動し約束しました。「出来る限りの努力をします。石鎚山を愛する全ての人たちと力をあわせて。」  
西条市の象徴であり、西日本最高峰の石鎚山の素晴らしさを日本中に広めたい。そのために、西条市出身で日本を代表するテノール歌手秋川雅史さんに歌ってもらおう。名曲「千の風になつて」と同じく新井満さんとのタッグで

## 秋川雅史歌唱『石鎚山』を全国的ヒット曲に!!

作詞・作曲 新井 満

～願いはただひとつ、わが西条を有名なまちに～

boutique SHE&HER

合同会社 シー・ハー  
〒793-0030 愛媛県西条市大町1686-11  
TEL/FAX 0897-55-1063

代表 越智 将文 (72回卒)

銀座LIGHT

LIVE HOUSE 銀座 LIGHT  
〒793-0030 愛媛県西条市大町1686-13  
【旧マルコシ本店】TEL 0897-55-1063

代表 越智 俊博 (71回卒)

MaruGoshi

T.M.M.カンパニー  
〒792-0014 愛媛県新居浜市西町3-4  
TEL/FAX 0897-33-2283

『石鎚山』 作詞作曲 新井 満 / 歌唱 秋川雅史

どんなに激しい嵐が来ても
たじろぐことなく微笑みうかべ
両手を広げて立ち向かう
いとしい家族を守るため
ああ石鎚山 ああ石鎚山
父なる山の声がする
生きよ 生きよ 生きよ
勇気を持って生きてゆけ

悲しい時にはひとりじゃないと
よりそい一緒に泣いてくれたね

涙はいのちの泉となって
かわいた心を癒してくれた
ああ石鎚山 ああ石鎚山
母なる山の声がする
生きよ 生きよ 生きよ
きよくやさしく生きてゆけ

ああ石鎚山 ああ石鎚山
父母なる山の声がする
生きよ 生きよ 生きよ
夢を追いかけて生きてゆけ



国民的ヒット曲になることを願って、
昨年春、再び「賛同署名」に動いた。
そして、ついに2020年3月25日、
秋川雅史さん歌唱『石鎚山』が完成し
ました。
道前会員の皆様へ、疲弊のつづく地
方経済、少子高齢化の波がどの地域よ
りも加速する愛媛県。その中であつて

西条市は今年「住みよい田舎」ランキ
ング(宝島社)で全国一位に選ばれま
した。このタイミングにあわせたよう
に完成した『石鎚山』。秋川雅史歌唱
ニューシングルのカップリング曲は西
条まつりで唄いつがれてきた伊勢音頭
(西条まつりばやし)が収録されてい
ます。西条市の象徴、西条市愛唱歌『石
鎚山』をお聴きいただき、是非ふるさ
とを思い出してみてください。そして、
西条市への愛でこの歌をみんなで広げ
ていきましょう。

みなさんからのご連絡を心よりお待
ちしております。

〔CD購入のお問い合わせ先〕

「千の風になつて」のまちづくり実行
委員会事務局

○イベントオフィス シーハー

TEL・FAX

0897-551-063

○内田美容室 (秦 千草子 80回)

TEL 0897-551-2799

FAX 0897-531-8364

E-mail sh1981\_1128@yahoo.co.jp



「コロナに負けないぞ!」
宇佐美和彦 (110回)

2009年度普通科卒業の宇佐美和
彦です。

西条高校を卒業し、今年でちょうど
10年が経ちました。

現在はプロラグビー選手として東京
都町田市に拠点を置く、キヤノンイー
グルスに所属しております。

高校に入学し、帰宅部だった私を当
時の体育教員でラグビー部顧問だった
月岡智雄先生が声をかけてくださり、
ラグビーに出会いました。入部当時は、

ルールはもちろん、何人でもやって、ど
んなポジションがあるかさえ全く分か
らない状態でラグビーを始めました。
初めての練習試合ではタックルをした
際、脳震盪になり、今自分がどこで何
をしているのか分からなくなつたとい
うこともありましたが、それを機に
タックルをするのが怖くなつたとい
うのが無かつたことは幸いでした。

ラグビー部は部員が非常に少なく、
グラウンドは大半以上を野球部とソフ
トボール部が使っていたので、隅の方
で細々とやっていたと思います。そのよう
な環境下で、辞めたいと思うことも何度
ありました。

しかし、2年生のときに卒業生でラ
グビー部OBの高石尚樹さん、山田央
さんお二人に熱心にご指導していただ
きました。ラグビーのルール、ラグビー
に必要な体力作りをお二人に学びまし
た。お二人がいなかったらラグビーを
続けていなかったと思います。

この様にいろいろなご縁があり、大
学でもラグビーを続けることを決め
て、立命館大学スポーツ健康科学部に
入学し、ラグビー部へ入部しました。

高校時代には経験しなかつたウエイ
トトレーニング、スクラムやモールな
どのFWの激しい練習に初めは体が悲
鳴をあげていました。鍛えに鍛えられ、
U20日本代表やJr.JAPANに選
ばれ、3年生の時に当時ヘッドコーチ
だったエディジョーンズさんから日
本代表に招聘していただくことが出来
ました。

大学卒業後、2014年から3年間
キヤノンイーグルス、2016年から
2年間サンウルブズ、2017年から
2年間パナソニックワールドナイツに
所属し、昨年から再びキヤノンイーグ
ルスに戻ってお世話になっております。



2015年には、日本代表キャップ
を獲得することが出来ました。
しかし、残念ながら2015イング
ランド大会、2019日本大会のワー
ルドカップにはどちらも選ばれず候補
止まりでした。最近では怪我も多く、
腰や膝を何度も手術、リハビリを繰り返
して国内のトップリーグの試合に
も出場の機会に恵まれていないので、
しつかり体を鍛えなおし、現役生活を
最後まで走り続け、現役最後のチャン
スだと思ふ、次の2023フランス大
会に、精一杯努力し、選ばれるよう頑
張ります。

終身利用権方式介護付有料老人ホーム

熟年コミュニティせとうち

☎0897-57-8100

入居者募集中



株式会社ジェイコム

【〒793-0073 愛媛県西条市氷見丙444-1】

代表取締役会長 眞鍋 敏朗 (58回卒)



# 同窓会だより

## あつと云う間の65年

齊藤正史(55回)

私達が西条高校を卒業したのは1955年(昭和30)でした。当時はまだ戦後の殺伐さがぬぐい切れず社会環境も劣悪であったと思います。

そんな中、小、中学をすりと通り抜け、ともに勉学をすることもなく、高校三年間もアツと云う間に過ぎてしまいました。会社に就職をする者には受け入れのほどない大会社でも



田舎のこと、ようあつて一人がやまで二人などとは中小企業でもむつかしい時代ではなかったろうか。あとは、自力で都会に出るか少ない伝手をたよって我が道を行くか、さもなくば田舎の土建会社に人夫として働くか、状況としては最悪と云える様な時代でした。又一方、小、中、高と目的を持って大学を目ざして居た者は、ほんの数える程の人でありました。そんな中、日本中の田舎から都会をめざして毎年、毎年、北は東北、北海道、南は九州一円から集団就職列車が多くの若者を東京、大阪、名古屋へと運んで行きました。昭和39年東京オリンピック、昭和45年大阪万国博覧会と、大きな行事が行なわれ、その催しは、これまでの我が国には比類のない経済効果を生むこととなりました。一方私達の仲間あいだでも高校を出てから17年にもなると心身ともにゆとりが出て来て、別れた友に思いを馳せ、又、忘れかけて居た田舎の父母や山河に思いをつなぐ友の声が広がって行き、一度同期会を云う心が芽生えて大阪の友が幹事となり各地に発信され想いをつなぐ為に呼びかけられたのが1972年(昭和47)の初めのことでした。残念ながら私は、仕事の都合で欠席となつてしまいました。関西在住の多くの友の世話になり全国から多忙な中、17年振のごぶさを引つさげ、なつかしさを交えて旧交を温め語り合つたと聞いて居ります。この集まりで、今後の方針も出され、おおかたの意見が今日まで続いて居る二年に一度各地の担当幹事の方針に依り、出来るだけ良策を練つて風薫る時期を選びなうと云うことになり、その後今日まで55回生の集まりがコンスタントに、北は仙台から南は長崎まで昭和47年から62年までに8回、平成元年から平成27年までに15回、日本各地を縦断しながら平成27年の道後温泉の大会を最後にして今日に至つて居りますが、少しもの足りなさを感じさせたのか、仲間の内から意見もあり、このままで終わつてしまふのもチョット淋しく感じるとのこと、地元に残つて居る者達で何かやろうやと、四国内で小さな忘年会をやつてはどの話が出て、生き残り静かに年忘れを決行、昨年までに平成27年から令和元年まで5年、5回の忘年会を松山、今治、西条等で30名程が集まつてくれて居ります。幸いなことに、仙台、東京、名古屋、大阪、徳島等からもそれぞれに多忙にめげず出席を頂いて居りますが、残る者達の心には、先に旅立つた友の思いをも心に留めてその度に行なわれる合掌の姿に聖なるものを感じるの私一人のみではないと静かに想い、55年の瀬に、老いたる友の、寄り来たりうまき酒汲み、心耕す 万兵衛

## 第六八回卒業生 関西同窓会に参加して

菅 公子・高橋悦子(68回)

西条高校同窓会(第68回卒)が京都で、11月24・25日に開催されました。参加者31名、男子20名・女子11名でした。会場はがんこ二条苑、午後5時、安藤さんの乾杯が始まるとおしゃべりを楽しみ、みんな笑顔。途中、簡単な自己紹介に移りました。それぞれの近況や暮らしぶりを聞き、改めて、卒業後50年余りの時の経過を感じました。

最後の記念撮影後、全員で大きな声で、校歌を歌いました。二次会は、カラオケやそれぞれの集まりで過ごし、宿泊者(21名)は、佐伯さんお世話の鴨川沿いのホテルにて一泊。

翌日は、南禅寺・永観堂への紅葉見物。晴れ男、晴れ女のおかげで、陽の光も見え、あざやかな紅葉を堪能することができました。

昼食は、名物の湯豆腐をいただき、その後西条から持参のペナントを次回開催予定の関東へと引き継ぎました。

その後、伊藤さん案内のもと、琵琶湖疎水の遺構も見学し、散会となりました。

私達は、今年古希を迎えた記念の年の会では、「楽しかった。」「良かったね。」という声をたくさん聞くことができました。元気で集えた喜びを分かちあえ、同じ学び舎で学んだ仲間であることを実感できた同窓会でした。



# 西条商工会議所

会 頭 星 加 隆 夫 (74回)

本 所 愛媛県西条市朔日市779番地8 電話 0897-56-2200 FAX 0897-56-2206  
東予支所 愛媛県西条市周布220番地2 電話 0898-64-5000 FAX 0898-64-0757



# 私達の50年目の門出

宮嶋幸雄 (70回)

春また浅い、雨模様の肌寒い日、それが50年ぶりの卒業式当日となりました。半世紀ぶりの大手門は、当時の付まいで私たちを迎えてくれましたが、校内に足を踏み入れると、すっかり変わってしまった母校を目の当たりにして戸惑いました。

しかし、それ以上の戸惑いが、集合場所の道前会館の食堂に待っていてようとは思ってもありませんでした。

コロナウイルス騒ぎのマスクのせいだったのでしょうか。

目の前の誰かと、記憶の中の同級生が一致しないではありませんか。

しばらくの間、食堂内はよそよそしい雰囲気が続いていましたが、15分、20分と時間が経つにつれ次第に、あの頃の「休み時間の喧騒」が戻ってきました。

50年ぶりの喧騒が落ち着いたころ、校長先生と道前会長が挨拶に来られ、その場にて我々70回生から母校への寄付目録をお渡ししました。

その後、卒業式会場の体育館に案内されました。静寂の中、体育館の天井の高さが会場の厳肅さをより高めていて、身の引き締まる思いがしました。しかし、

どこかに当事者でない気軽さを感じながら卒業式の開会を待ちました。

式典が始まり、静寂の中に響く卒業生の短い力強い声



に、在校生の送る言葉に、そして卒業生の答える言葉に私たちが忘れていた「青春の一片」を思い出した時、胸がそして目頭が熱くなり、気軽さは感動に変わったのでした。

期待と不安は、若き心と体を免疫のない体を苛むウイルスのように、時には激しくまた、時には悪魔のささやきのごとく艶めかしく揺り動かします。

その体の内から紡ぎだされる呻吟にも似た彼らの言葉は、かつて同じ思いをした我々の心に響いて来たのです。

先輩として、素直に心の底から、彼らの人生にエールを送りたいと思ってしまう。

卒業生を送る拍手にはいつの間にか力がこもり、いつまでも手を叩き続けていました。

そんな余韻の残る中、大手門を背景に記念写真を撮った我々は、会場を農協会館に移し、卒業50年にして初めての全クラス合同の同級会を開催しました。

総勢75名、手作り感の色濃い祝宴を行いました。そして、お二人の恩師のご出席も頂きました。

秋川暢宏先生、ご存じのように音楽を担当されました。そして、山内洋二先生、英語担当で大洲からお越し頂きました。先生方のお話は、懐かしいエピソードや率直な思いを取り混ぜとても愉快なものでした。

50年という時の隔たりは、確かに大きく私たちを取り巻く環境を変えてしまいました。青春のある時期を共に過ごした仲間という関係は、同じ時代を歩んできた同志としての絆を育み、思いの外私たちの身体の中に、深く強く存在していたようです。

あつという間にあの頃の君と僕に戻ったのでした。

開会の挨拶で始まった宴会は、伊勢音頭で盛り上がり、元野球部の旧友の熱い語りや野球部応援歌は、松山球場を彷彿とさせたのでした。私たちが1年生の時に作られた西条高校創立70年記念

賛歌、秋川先生が作曲されたのですが、記憶の濃淡がはつきり分かれた曲でした。ユージンの卒業写真や西条市のテーマソング石鐘山も披露されました。

そして、閉会の挨拶が行われましたが、各場面を担当してくれた級友達は、昔ながらの個性に其々の50年で磨きを掛けた味わいを発揮し、同級会に花を添えてくれました。

懐かしさは時を経るに従って、癒しとしての効力を増していくようです。

青春時代に育まれた友情の絆を再確認して2時間半の同級会はあつという間に終わってしまいました。名残惜しい気持ちを胸に再会を約束して閉会となりました。

私達は今から大きな不安と少しの期待を抱いて、最終盤の人生のステージへ向かいます。

今こそ、私達の50年目の門出の時です。その門出を、皆で祝い励まし合う機会を持つことが出来ました。人生の中で、思い出深い一日となることでしょう。

この企画に携わって頂いた西条高校、道前会の関係の皆様から感謝を申し上げます。

素晴らしい3月1日を有難うございました。これから大手門を巣立つ若者が、母校とふるさとを愛し続けることを願ってご報告を終わります。

## 皆さん元気でまた会いましょう!

### 78回理数科

日本国中新型コロナウイルスで大変な状態ですが皆さん如何お過ごしですか?

私たちは、昭和53年に理数科を卒業した第78回生です。卒業してから41年もたちました。3年間同じメンバーで〇〇先生の闘魂注入や受験戦争をくぐり抜けてきたのも、今では懐かしい思い出です。

令和元年8月17日(土)、お盆に合わせるのクラス会開催となりました。高校卒業以来初めての人もいて、誰だっけ?と思ったりもりましたが(あまりの変わりようにお聞き直前でやっとなかなか同級生もいましたが)、風貌はそれなりに年をとりましたが、話をすれば昔と変わりなく、楽しい時間を過ごすことができました。

5年前は、西条・大阪・東京の3会場に分れてのクラス会でしたので、今回は、『還暦・退職祝い』ということで地元・西条での顔合わせとなりました。男子も女子も各界で随分ご活躍の様子、凄いなと思えました。ノホンと暮らしている自分は恥ずかしいくらいでした。

今回の帰省では、ホテルの自転車を借りて市内の懐かしい所を回ってみました。随分西条も様変わりして、私の育った西条が遠くなくなりました。

20代のクラス会の話とはもっぱら仕事や付き合い合っている人のこと、30代になるとご主人や奥さんや子供のこと、そして今回は、孫や持病の話、親の介護のことが中心になっていました。

みんな同じ大手門をくぐりながら高校生活を送り、同じように年を取っているんだなあと実感しながら、いつまでも一緒に長生きしようと思おうクラス会でした。

今は、緊急事態宣言の下、外出もままならず、ましてや、ゴールデンウィークだというのは、旅行も帰省もできない状況です。みんな協力してこの難局を乗り切りたいものです。

また元の生活に戻れた時には、故郷・西条でお会いしましょう。

皆さん元気で頑張りましょうね。



## 祝 卒業 50 周年記念

我 思う故に我あり  
そして今

母 校 思 う 故 に 我 等 あり

第 70 回 卒業生有志一同